

## 地域活動専門員日誌

### 地区と地区を橋渡し



活動が盛り上がっています！



綾織地区センター  
菊池陵太さん

昨年6月から、綾織町の「遠野郷南部田植え踊り」の保存活動を支援しています。この踊りは、担い手不足により存続が危ぶまれていましたが、同町の山口太神楽保存会と合併し「綾織町第4区・第5区郷土芸能保存会」を新たに発足。両地区で協力して活動を行い、今では保存活動が盛り上がってきています。地区と地区の橋渡しなどにも取り組み、地域の宝を大切に保存していきたいと思ひます。

## みらい創りカレッジ通信

### 夏のオープンカレッジに行ってみよう！

遠野みらい創りカレッジは、「夏のオープンカレッジ」を開催します。



地域の人々が自由に参加できるイベントで、シンポジウム、パネル展示、体験授業などさまざまなプログラムを用意しています。ご家族、ご友人などお誘い合わせの上、ぜひお越しください！

- 日時 8月23・24日、9時～
- 場所 遠野みらい創りカレッジ（旧土淵中学校）
- 参加料 無料
- 問い合わせ 遠野みらい創りカレッジ事務局（☎60-1276）

### お知らせ

同イベントの謎とその答えを、8月8日（金）から市博物館のホームページに掲載します。ぜひ、ご覧ください！  
<http://tonoculture.com/>



1\_1問目の暗号問題に挑戦。2\_本棚から答えを見つけた参加者たち 3\_博物館でついに最終問題へ。展示物をヒントに答えを探し出しました



### 夜の図書館で謎解き体験 幽霊ナイトミュージアム開催

幽霊ナイトミュージアムは7月26日、市図書館・博物館で開催されました。来場した80人は、13の班に分かれて、各館で出される謎に挑戦。謎は、文字と数字を組み合わせて解く暗号や遠野の歴史にまつわる問題まで、同館の展示物をヒントに解くものです。参加者は、薄暗い照明と今にも幽霊が出てきそうな夜の同館の雰囲気を楽しみながら謎解きを楽しみました。1位でゴールした松田開地さん（14）は「夜の博物館に来てみたかった。最終問題が難しかったけど、弟がくれたヒントをもとに解けました」と喜びました。



1\_親方の「よっ！」の掛け声で顔を近づけにらめっこ 2\_最終組で勝利した来輝くん。抱きかかえられるとすぐに泣き顔を見せました



### 元気な泣き声会場響く 綾織で泣き相撲大会開催

子どもの健康と成長を願う「綾織わらすっこすくすく相撲大会」（同実行委員会主催）は7月13日、綾織地区センター内で行われました。今年は、23人の豆力士が参加。6カ月から2歳までの豆力士が土俵で向かい合い、にらめっこ。先に泣いたら勝ちの一発勝負で勝敗が決まります。豆力士たちは、泣いたり笑ったりのさまざまな表情を見せ、会場中に元気な声を響かせました。最終組で勝利した宮守町の菊池来輝くん（1歳）。母親の菊池瞳さん（27歳）は「泣く子は育つといわれのとおり、強い子に育ってほしい」と願いを込めました。

### 多彩な催しで大にぎわい 柏木平で合同イベント開催

「柏木平リバーサイドまつり」「全国やぶさめ競技第8回遠野大会」「遠野わらすっこまつり」（いずれも各実行委員会主催）は7月27日、宮守町の柏木平特設会場で開催されました。訪れた6,000人は、多彩なイベントを楽しみました。

会場では、早食い大会やバルーンアートショーのほか、魚のつかみ取りや伝承遊びコーナーも開催。また、全国やぶさめ大会には国内外から32人の名手が参加し、白熱した勝負を繰り広げました。スイカ早食い大会で優勝した下館春水さん（9歳）＝大船渡市＝は「タネまで食べるのが早食いのコツ。また来年も来たいです」と満足した様子でした。



1\_たくさんの人でにぎわう会場 2\_スイカの早食い大会。1位には豪華景品が 3\_「バンブーダンス」で飛んで遊ぶ参加者 4\_大槌町出身の歌手白澤みさきさんのミニコンサートも開かれました 5\_人馬一体の戦いを見せた全国やぶさめ競技大会

### 家族に囲まれ元気に100歳 古屋敷ツヤさんをお祝い

土淵町の古屋敷ツヤさんの100歳を祝う会は7月5日、サンパークやなぎ（中央通り）で行われ、家族や親族ら20人が長寿を祝いました。菊池孝二副市長から花束や記念品が贈呈されると、ツヤさんは「家族に支えられたおかげ。ありがとうございます」とほほえみました。

ツヤさんは大正3年に綾織町に生まれ、24歳で夫・幸一さん（故人）と結婚。農業に励みながら、5人の子どもを育て上げました。若いころから丈夫で、けがや病気をしたことがないツヤさん。現在は長男夫婦と5人で暮らし、毎日欠かさず20分間の散歩を行うなど、元気に過ごしています。



菊池副市長から記念品を受け取り、笑顔のツヤさん

### 懐かしのD50賛歌復活！ 上郷町敬老会でお披露目会

JR釜石線S L銀河定期運行をきっかけに64年の時を経てよみがえったD50賛歌のお披露目会は7月6日、上郷町敬老会に合わせパレス道（青笹町）で開かれました。上郷町のD50賛歌復活委員会（荻野桂一代表）がS L運行を盛り上げようと企画。よみがえらせた曲は「じゃじゃほっぽ」「上郷音頭」の2曲で、昭和25年の釜石線全線開通の際、小中学校の音楽発表会などで歌われた懐かしい曲です。

同委員会の会員で、全曲全て覚えていたという佐々木愛子さん（82）は「この歌とともに当時の記憶がよみがえり懐かしい時間を過ごせました」と笑顔で話していました。



コーラス野菊が歌を披露。参加者は懐かしの曲を口ずさみました